さん家族で取り組む『きのこ観察&超望遠コンデジ(コンパクトデジタルカメラ)』は、次回にはどのような発表となるのかと思いました。個々の創意工夫された発表は上手に編成され、すっかり浸り、聞き入っていました。さらに最後の演題、三休さんの『KINOKO WARS』は幻想的な光るきのことリズム感のある音楽のコラボレーションが素晴らしく、もう一度聴きたいという気持ちでした。２週間余経た今でも、すずらんの皆様が指揮者の近田節子さんと一体となって演奏されたハンドベルの音色、そして三休さんの『KINOKO WARS』は脳裏に刻み込まれています。次回はどのようなバージョンを聞かせていただけるのかととても楽しみにしています。

皆様の健康と益々のご活躍を心から祈念しております。❐

キクバナイグチは３種に分けられた！

2009 年８月 16 日、会員の石毛久雄さんと中川憲さんが笠森（長生郡長南町）できのこをたくさん採集して中央博に持ち込まれた。そのなかに、夏のシイ・カシ林に発生するキクバナイグチが大量に入っていた。本種は２種類あることが知られていたので、偶然居合わせたわたしは、鱗片の細かいものと大きなものとに分けていった（写真１）。なんという贅沢。一同にたくさん見ることができると、違いがよくわかり、とても勉強になる。分け終えて、鱗片の大きなものの山をながめていると、どうも顔つきが違うものが混じっている。個体差なのか？半信半疑ではあったが、さらに分けられるような気がして、直感に従って分けてみた。そして、A、B、C と３つ（写真２）に分けたまま、ちょうど研究で本種を集められておられた、京都大学の佐藤博俊さんにお送りした。2015 年夏、キクバナイグチは３種に分けられたという報告がでたことを聞いた。しかも、なんとあの日分けたとおりに、DNA で分けられたということであった。目視での分別もまんざらではないとわかり、とても嬉しい。以下は佐藤さんの論文 URL です。皆さまぜひご覧ください。（吹春公子）
http://journals.plos.org/plosone/article?id=10.1371/journal.pone.0128184

写真１

写真２　左より、A(CBM-FB-37683)、B(CBM-FB-37684)、C(CBM-FB-37685)、（ ）は中央博物館の資料登録番号